

## 団体の名称

須坂市

## 連携している団体

保育所、小学校、中学校、PTA、子育て・教育支援団体、NPO、教育委員会、保健・福祉部局、その他

## 活動の背景・ねらい

### 《背景、状況》

保健補導員制度の発祥地である須坂市は、健康づくりに係わる市民が多く、食生活改善推進協議会活動も盛んで、時代の健康課題解決に取り組む気質が培われている。近年は、食を取り巻く環境の変化や、子どもをはじめ食への課題が注目される中「食育ボランティア」活動も盛んにおこなわれている。須坂市の児童・生徒の朝食摂取割合は、長野県の平均値よりも高く90%台であるが、100%には、あとひと息である。

### 《対象者》

幼児、児童、生徒、その保護者、学校、地域、地域の団体

### 《ねらい、目的》

朝食に重点を置き「児童生徒の朝食摂取割合100%」に向け、発達段階に応じた「つける力（めざす姿）」と、学校、家庭、地域の役割を明確にし、体系的に事業に取り組む。

## 活動内容

### 《活動の内容を教えてください》

#### 【小・中学校の取り組み】

○食育リーフレットに発達段階に応じた「つける力（めざす姿）」と、学校、家庭、地域の役割を明確にして、行政内部でも連携し食育の取り組みを体系化した。

○須坂市学校給食センター食育全体計画を作成

○栄養教諭と連携した計画的な食育授業

＜朝食指導に関連する授業＞

・小1「給食と食べ物の働きを知ろう」・小4「A君を元気にするための朝食を考えよう」・小5「健康に過ごせる食習慣について考えよう」・小6「よりよい朝食をとる方法について考えよう」・中1「中学生の食生活」・中2「生活習慣病について考えよう」

○健康づくり課との連携

食ですこやかに親子でクッキング（小3）市の管理栄養士、ボランティアの「食で健やか応援隊」が講師。

#### 【つながる食育推進事業の取り組み】

○食育講演会 「朝食で脳が変わる！未来をひらく！～生活習慣を見直し夢をつかもう！～」講師：東北大学 加齢医学研究所所長 川島 隆太教授

○モデル校での取り組み（仁礼小学校・東中学校）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/hokenko/hoken/kyushoku/shokuiku/torikumi/>

## 活動の成果

つながる食育推進事業モデル校において事業実施後の朝食摂取割合は、小学校ではほとんど変化はなかったが、中学校では微増となった。行政内、学校、地域住民が連携して食育に係わる体制整備がすすんだことで、「朝食を栄養のバランスよく食べる」や「主食、主菜、副菜をそろえる」児童・生徒が増えた。

## 今後の展望

2019年度に取り組んだ「つながる食育推進事業」でも多くの成果を得ることができた。今後は家庭、地域を巻き込み、学校においては、教科と連携した授業をつなげ、市内全域に広げたい。